



だれもが安心して生きていける社会をめざして

全身マヒの  
ALS 議員

# 車いすで国会へ

命あるかぎり  
道はひらかれる

全身マヒの船後靖彦さんは、なぜ国会議員になったのでしょうか。その生い立ち、出会った人々、日々の生活、そして議員としての活動と目ざす社会を写真で追っていきます。

定価：1,500 円+税 B5判上製 32 頁  
ISBN978-4-86412-185-9 C8737



船後靖彦  
加藤悦子・堀切リエ／著

- 国会のバリアフリーについて
- 国会議員はどんな仕事をするのか
- 共に学ぶインクルーシブ教育とは何か
- 重度の障害者が働く時の制度について
- 共生社会を目指す地域活動
- 障害者と健常者のコミュニケーション
- ピアサポートの大切さ

船後靖彦（ふなご・やすひこ）

1957年、岐阜市生まれ。1982年、酒田時計貿易株式会社に入社し、商社員として海外を飛び回り活躍していたが、2000年、筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断される。2014年、株式会社アースの副社長に就任。2019年、参議院選挙に初当選する。主な著書に『しあわせの王様』（共著、ロクリン社）、『三つ子になった雲』（日本地域社会研究所）などがある。



議員席の椅子と床をとりはずし  
船後さんの席をつくる



委員会で質問をする



文字盤を目で追って文章を作る



介助者の佐塚さんと国会で



お母さんと地域のイベントに  
参加する



施設のクリスマス会に  
サンタクロースになっ  
て登場

ご注文はお近くの書店、ネット書店もしくは、FAX で右記弊社までお願いします。FAX：03（3830）0028

注文書	ご注文冊数	書名
書店番線印		<b>全身マヒのALS議員車いすで国会へ</b> 命あるかぎり道はひらかれる
	冊	定価：本体 1500 円+税 ISBN 978-4-86412-185-9 C8737
	お名前	電話番号
	ご住所 〒	